

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2 部 2 年	保育内容・健康	重安 智子	
サブタイトル	領域「健康」のねらいと内容の理解	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	2 部 2 年：前期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
1 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域「健康」のねらい・内容について理解し、説明することができる。 2 心身ともに健康な子どもを育成するための実践的知識を取得することができる。 3 健康に関する現代的課題を理解し、心身ともに健康な子どもを育む保育者の支援のあり方について考究することができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
・幼児教育に対する情熱・使命感・責任感をもち、子どもの発達に即した援助を行うための専門知識を習得する。 ・多様な協働学習を通して、豊かな人間性を身につける。 ・カリキュラムマップの「保育を構築する」に位置づいており、保育内容の中核をなす科目として、確かな学びの構築を図る。			
授 業 の 方 法			
1 子どもの健康に関する基礎理論を教科書や幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から学ぶ。 2 事例や映像を通してグループ討議・発表など、アクティブ・ラーニングの授業展開で主体的・対話的に学ぶ。 3 幼児期の子どもの健康を育むための保育プログラムを立案し、実践的知識や実践的技能を習得する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：教科書『保育内容「健康」遊びや生活から健やかな心と体を育む』重安智子 安見克夫 編 ミネルヴァ書房 2020 年 教科書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 幼稚園教育要領解説 保育所保育指針解説』 チャイルド本社 2018 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1 領域「健康」のねらい・内容について理解し、説明することができる。 2 発育・発達を支える保育者として基礎知識を理解し、実践的な力を身につけることができる。 3 健康に関する現代的課題を理解し、保育者の支援のあり方について説明することができる。 3 定期試験、教材作成、レポート、指導案、模擬保育等で総合的に評価する。		・定期試験 50% ・教材作成、レポート、指導案、模擬保育等 50%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・授業には、テキスト、参考書、A4 判ノート（ファイル可）を持参する。 ・レポート等の提出期限を守る。 ・授業については主体的に参加する。 ・普段から、新聞やテレビ等のニュースで子どもの健康に関する話題に関心をもつ。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	＜ガイダンス＞＜領域「健康」のねらい＞ ・授業の目的、内容、進め方について理解する。 ・領域「健康」のねらいについて理解する。	授業の概要理解 領域「健康」のねらい理解
2 回	＜領域「健康」の内容と内容の取り扱い＞ ・3歳児～5歳児の心身の健康の内容と内容の取り扱いについて理解する。	領域「健康」の内容と内容の取り扱いの理解
3 回	＜幼児期の心身の発育・発達とその特性＞ ・乳児期から幼児期における発達の特徴を理解する。	発育・発達の理解
4 回	＜幼児期の生活リズムと基本的な生活習慣＞ ・幼児期の基本的な生活習慣について理解する。 ・家庭との連携のあり方について理解する。	生活リズムの理解 基本的な生活習慣形成の理解、家庭との連携理解 問題発見力・課題解決力
5 回	＜基本的な生活習慣の形成（情報機器・教材を活用した模擬保育①＞ ・基本的な生活習慣の意義を踏まえ、食育・睡眠・排泄・清潔・着脱衣の指導について教材・指導案を作成する。	保育方法の理解 実践的技能 表現力
6 回	＜基本的な生活習慣の形成（情報機器・教材を活用した模擬保育②＞ ・基本的な生活習慣の意義を踏まえ、食育・睡眠・排泄・清潔・着脱衣の指導について教材・指導案を作成する。	保育方法の理解 実践的技能 表現力
7 回	＜基本的な生活習慣の形成（情報機器・教材を活用した模擬保育③＞ ・基本的な生活習慣の意義を踏まえ、食育・睡眠・排泄・清潔・着脱衣の指導について模擬保育を行う。	実践力 表現力・発表力 協働性
8 回	＜幼児の健康生活と体力・運動能力＞ ・幼児期運動指針について理解する。 ・園内環境の工夫について考究する。 ・家庭との連携のあり方について理解する。	幼児期運動指針の理解 園内環境の工夫 家庭との連携理解 教師の役割理解
9 回	＜運動遊びに関する情報機器及び教材を活用した模擬保育①＞ ・健康維持・増進のための指導案を作成する。	保育方法の理解 実践的技能 協働性、発表力
10 回	＜運動遊びに関する情報機器及び教材を活用した模擬保育②＞ ・健康支援・増進のための指導案を作成する。	保育方法の理解 実践的技能 協働性、発表力
11 回	＜運動遊びに関する情報機器及び教材を活用した模擬保育③＞ ・模擬保育を通して実践的指導力や実践的技能を習得する。	保育方法の理解 実践的技能 協働性、発表力
12 回	＜幼児の食育とその指導法＞ ・食育基本法について理解する。 ・食物アレルギーについて理解する。 ・家庭との連携のあり方について理解する。	食育の重要性の理解 食育基本法の理解 食物アレルギーの理解 家庭との連携理解
13 回	＜食育に関する情報機器等を活用した教材の作成＞ ・楽しく食べるための食育について考える（情報機器の活用）。 ・楽しく食べるための食育の教材作成をする。	情報機器の活用理解 教材開発力 協働性
14 回	＜食育に関する情報機器等を活用した教材の発表＞ ・楽しく食べるための食育について作成した教材について発表する。	情報機器の活用 協働性 発表力
15 回	＜安全な生活（安全環境と安全教育）と領域「健康」のまとめ＞ ・安全環境と安全教育について理解する（情報機器の活用を含む）。 ・子どもの健康な心とからだを育む環境や保育者の役割について理解する。	安全環境・安全教育理解 危機管理能力 情報機器の活用理解 保育者の役割理解
試験	定期試験	